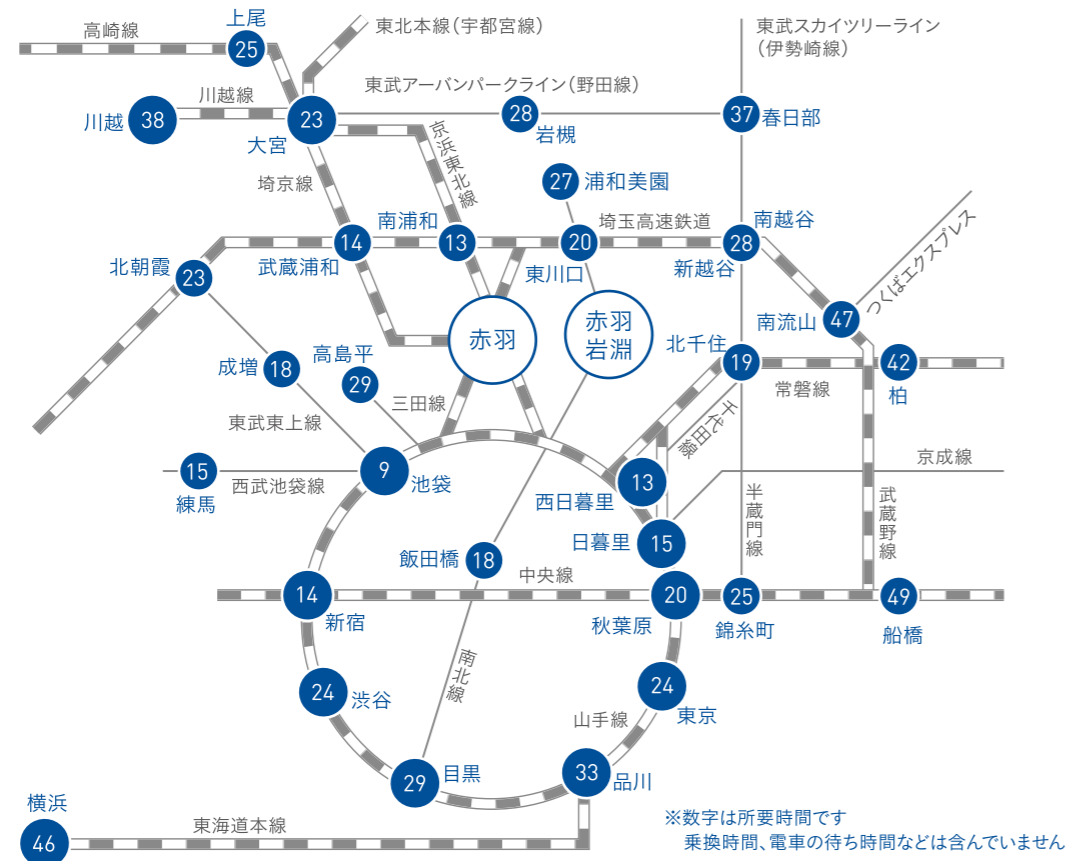


# Access

## [路線図]



## [近隣マップ]



English ver.

# SALESIAN

## INTERNATIONAL PRIMARY SCHOOL INTERNATIONAL CLASS



# 21世紀に活躍できる 世界市民力の育成

21世紀、テクノロジーがめざましく進化していく社会で、私たち人類は幸せになれるのでしょうか。

この問いに対する答えを、誰かが与えてくれることはありません。

AIやロボットといった革新技術を活用して、

すべての人々が幸せに生きていける社会を創造するのは、私たち一人ひとりです。

新しい時代の、新しい世界で、あなたはどのように活躍し、輝きますか？

これから生きるための確かな力と、自ら「善」を選び取る力を、

ぜひサレジアン国際学園で手にしてください。

共に喜び、共に生きる素敵な友人たちと一緒に。

## 5つの教育重点項目

### コミュニケーション力

バックボーンが異なる人と協働することで、多様性や相手の立場を尊重しながら、ミッション達成へと導ける柔軟でタフな交渉力・調整力を身につける。

### 数学・ 科学リテラシー

テクノロジーの進化に伴う社会全体の価値観の変容に対応するだけでなく、その担い手として変化する時代のなかでさらに新しい価値を創造する力も身につける。

### 心の教育

理性・宗教・慈愛に重心を置いた教育によって、自分はもちろん他者の幸せも考え、その実現に働かせる力を身につける。

### 言語活用力

グローバル社会の共通言語である「英語」の習得。話せるだけでなく、多様な分野で自己表現を達成するためにも、英語で思考できるような言語の活用力を身につける。

### 考え続ける力

何かを推進する際の選択に対して、多くの検討・検証(Logical, Critical, Creative)を重ね、より精度の高い最適解が導き出せる力を身につける。



*A New Step Begins Here* —



*From the International Class at  
Salesian International Primary School  
to the World.*

# 帰国生でも、英語ゼロベースでも 英語経験に応じた2つのグループ

## SG (Standard Group)

## AG (Advanced Group)

インターナショナルクラスは入学前の英語経験に応じて、SG・AGの2つのグループに分かれます。

英語未経験で入学し、ステップを踏んで英語環境へ移行する「SG」、入学直後から英語環境で学校生活を過ごす「AG」。スタートは異なりますが、卒業時の姿は同じです。英語で学び、考え、表現する力を育てます。



SG

New 2027年度よりスタート!

-Standard Group-

これから英語を学び始める児童のためのグループです。入学当初は日本語を用いながら学校生活をスタートし、徐々に英語力を身につけてAGへ合流します。いきなり英語環境に入るのは不安という方にもおすすめです。

Point 1

英語力を問わない入試

日本語中心の出題で、入学時点での英語力は問いません。英語力ではなく英語への反応を見ることを目的として、試験の一部に英語を用います。

Point 2

英語は初歩からスタート

英語未経験の児童でも安心して学べるよう、英語は初歩から。フォニックスやアルファベットなど、基礎から一歩ずつ英語力を育てていきます。

Point 3

1～2年でAGへ合流

入学後1～2年で授業が理解できるレベルの基本的な英語力を身につけ、AGへ合流します。合流後は、英語環境での学校生活を通して、高い英語力を身につけます。

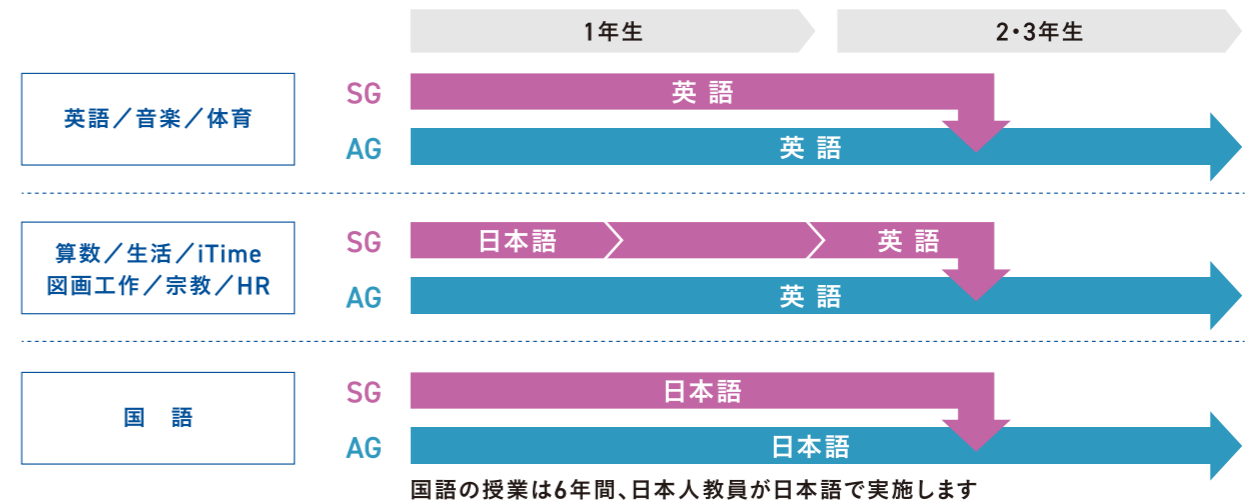
AG

従来クラス 2026年度よりスタート!

-Advanced Group-

英語を学習言語・生活言語として学校生活を過ごすグループです。ほぼすべての授業や行事を英語で実施する、海外の学校のような環境です。日々の学習・生活を英語で継続することで、年齢に応じた高い英語運用力を習得します。

最初の1～2年は、一部授業の使用言語が異なります



SGは日本語も用いながら、段階的に英語中心の学習環境へ移行します

# School Life in English

英語を“学習”から、英語で“生活”へ



## 英語で過ごす小学校生活

インターナショナルクラスは、“学習”も“生活”も、学校で過ごす時間のほとんどが英語であふれた環境です。授業はもちろん、ホームルームや行事、先生との会話、日々の連絡事項も英語で行われます。日々のコミュニケーションを英語で楽しむことで、「もっと話したい」という意欲が高まり、英語習得へのモチベーションも向上します。英語の授業で身につけた読み書きの5つの基本要素は日常会話のなかですぐに実践できます。語学習得の黄金期ともいえる小学生時代をこの環境で過ごすことで、年齢に応じた高い英語力が自然と身につきます。

## ■ Mostly in English

インターナショナルクラスでは、ほとんどの授業を英語で行います。英語の教科としての授業数は各学年5コマですが、その他のほとんどの科目も英語での学びとなるため、1日の大半を英語で過ごすこととなります。

※SGは日本語も用いながら、段階的に英語中心の学習環境へ移行します



## ■ International Teachers

出身国の小学校教員資格と現地校での経験を持つ外国人教員が担任を務め、子どもたちとともに学び、生活を送ります。先生との会話のなかで生きた英語を学び、将来グローバル社会でも活かせる高度な英語力が身につきます。

## ■ Learning Tools

**GrapeSEED**  
ENGLISH FOR CHILDREN

- ✓ Phonemic awareness
- ✓ Pronunciation
- ✓ Fluency
- ✓ Vocabulary
- ✓ Speaking

歌やストーリーなどを楽しみながら、母国語のように自然な言語習得ができるよう設計された英語学習カリキュラムです。子どもたちはネイティブスピーカーの言語習得と同じように気づかないうちに英語力が向上し、だんだんと自信を持って話せるようになります。



**COLLABORATIVE CLASSROOM**

### Being a Reader™

- ✓ Phonics
- ✓ Comprehension
- ✓ Reading

読解力と社会性スキルを同時に向上させるリーディングカリキュラムです。フォニックス指導は一人ひとりのレベルに応じ、全体指導と少人数グループ指導の両方で行います。教室には数百冊の英語の本を用意し、教師のサポートのもと、子どもたちは自分のペースで読書を楽しみます。



### Being a Writer™

- ✓ Writing
- ✓ Grammar

小学校1年生からの作文練習を通じて、英文を書く能力を引き出します。テーマを選び、作文課題に取り組むなかで文法を学びます。構造化されたフィードバックセッションを通して、高い文章力と正確さを身につけます。



# 21st Century STEAM Education

成長に応じた思考力を育てる



## 21世紀型STEAM教育

子どもたちの感覚や思考は段階を経て発達します。ジャン・ピアジェ(スイスの心理学者1896-1980)は、子どもの成長を4段階に定義し、知能や思考力、理解力などがどのように発達していくかを示した認知発達理論を提唱しました。小学校期は、具体的操作期(1~4年)から形式的操作期(5・6年)にあたりとされています。この時期は、思考のあり方が大きく変化し、学びの質が深まっていく重要な段階です。だからこそ、発達の特徴を踏まえた教育設計が求められます。本校では、この認知発達理論に基づき、発達段階に応じた独自の教科教育・STEAM教育を展開していきます。

## ■ Piaget's Theory of Development

児童の発達段階に応じて、カリキュラムや指導方針を変えていきます

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
ピアジェの発達段階	具体的操作期(7~11歳)				形式的操作期(11歳~)	
学びの特徴	<p>具体的操作期では、物を操作し体験する経験によって状況把握能力を育み、そのような体験を積み重ねることで物事の因果関係を理解できるようになっていきます。</p> <p>また言語習得能力が非常に高い時期ですので、日英両言語での協働学習を通じて、教科横断的な思考力と多角的に物事を見る力を養うことが可能です。</p>				<p>形式的操作期では、具体的な事柄がなくても頭のなかでの思考ができるようになっていきます。抽象的な知識や概念が理解できるようになるため、仮説を立てて推理を行う学びの幅がさらに広がり、グループプロジェクトもより洗練されていきます。専門性の高い教員の指導のもと、形式的操作期でも日英両言語で思考力を育みます。</p>	
ピアジェの認知発達理論に基づく指導実践例	<p>【具体的操作期前期】</p> <p>目に見える具体的なものを活用しながら、数の数え方やものごとの分類など、論理的思考の基礎を育てる時期です。身近な体験を「整理・納得」する喜びを知り、学習の土台を着実に築きます。</p>		<p>【具体的操作期後期】</p> <p>重さや体積の保存概念を理解し、複数の条件を組み合わせて考える力が育ちます。他者の視点を取り入れながら多角的に問題解決に取り組む力が身につく、抽象的な思考力の土台が築かれます。</p>		<p>【形式的操作期初期】</p> <p>抽象的な概念や仮説をもとに、より高度な推論へと発展していく時期です。目に見えない事象も論理的に捉え、多角的に分析する力が育ちます。自ら課題を設定し、解決策を導き出す探究的な学びが深まります。</p>	

## ■ Mathematics & Science Education

1年生から理数教科を学び、数学・科学リテラシーを育みます

### Mathematics 算数

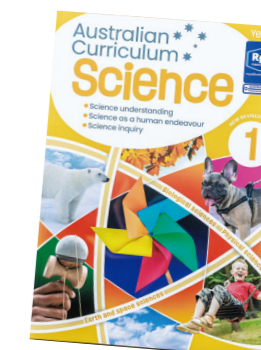
世界トップレベルの算数教育を実践しているシンガポールの教科書「think! Mathematics」シリーズを使用。単なる暗記や数的操作にとどまらず、子どもたちが自主的に考え、問題を解決する力を育むカリキュラムです。日本の学習指導要領をカバーしながら、革新的なタスクやチャレンジを通して、論理的・批判的・創造的な思考力を伸ばします。



### Science 理科

オーストラリアの教科書を使用する予定です。読解・批判的思考・実験を組み合わせた学びを通して、子どもたちの知的な好奇心を引き出します。複雑な実験やデータ収集、エネルギーなどの抽象的な概念の理解を深めながら、主体的に考える力を育みます。さらに、他教科と関連づけた総合的な学びも取り入れ、科学的な視点から課題を捉え、探究する力を伸ばします。

※低学年では生活科として学びます



## ■ PBL (Project Based Learning)

PBL型授業とは、正解が一つではない問いに対して自らの最適解を導き出し、仲間たちと思考力を高め合う授業です。その過程で主体的な学びを得られ、5つの教育重点項目を着実に育んでいきます。思考力が芽生えてくる5・6年次から取り入れることで、圧倒的な思考力の獲得が期待できます。



# Cross-Curricular Inquiry

教科の枠をこえて、テーマを深める



## 教科横断型で探究する授業

6年間の学びの中心に据えるのは「探究」です。英語・算数・理科・社会・図画工作といった教科ごとに分断するのではなく、一つの問いを軸に、教科を横断して学びを深めていきます。「この内容はこの教科」と単純に区分できない学びも多くあるので、テーマや児童の興味・関心に応じて柔軟に授業時間を配分し、複数の教科領域にまたがる解のない問いを深く深く考えます。思考する面白さに浸るなかで、問いを立てる力や多角的に捉える視点、そして新たな価値を生み出す創造性も身につきます。

## ■ Cross-Curricular Learning

iTime(アイタイム)は、本クラスの教科横断型プログラムです。挑戦的で好奇心を刺激するトリガークエストを起点に、子どもたちは実社会とつながる課題に取り組みます。発表を前提としたプロジェクトを通して、実践的な問題解決力と創造的な表現力を磨き、自らの考えを形にする力を育みます。

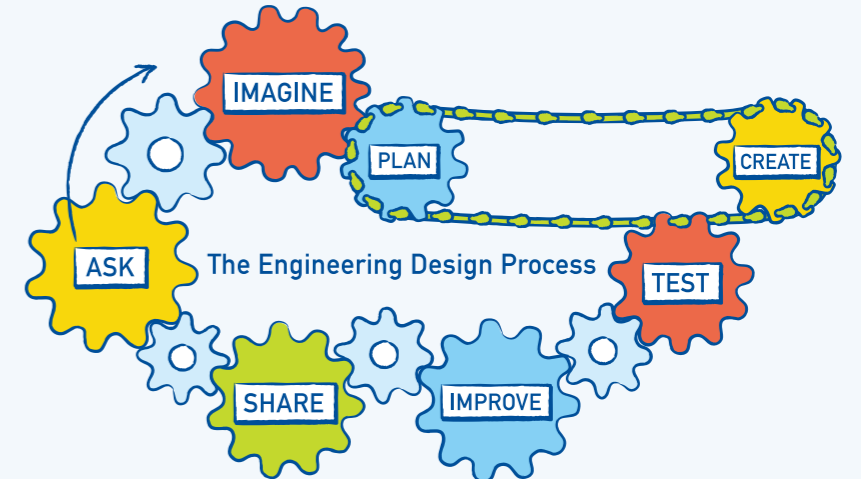
**iTime**

インターナショナルクラスの授業

### 5つの特長

#### 1 Engineering Design Processを活用

Engineering Design Processは、子どもたちの自然な好奇心と「なぜ?」「どうやって?」という探究心に寄り添いながら、体系的な問題解決の手順を楽しく学べる方法です。右図のように、授業は常に「ASK(問い)」から始まります。その問いに対して子供たちは考えを「IMAGINE(想像)」し、自分なりの解を「PLAN(計画)」…と、考えを深めるプロセスを毎回の授業で繰り返していきます。最後は「SHARE(共有)」の場を持つことで、思考力のみならず表現力やコミュニケーション力も養われます。



#### 2 アクティブラーニング

課題設定、アイデア創出、解決策選択、制作、評価、改善というサイクルを通して、論理的思考と創造性を育みます。最後に成果を共有することで、プレゼンテーション能力も向上します。

#### 3 学際的探究

教師は子どもたちに一方的な授業をせず、前を向いて整理させることもありません。子どもたちは複雑な関係性を理解する能力の発達にあわせて、STEAMの要素が自然につながる学びを体験します。

#### 4 つながりのある学び

「数に関する物語」「自然に関する歌」「地域社会に関する美術プロジェクト」などを通して、子どもたちはすべての学びが繋がっていることを理解します。

#### 5 段階的な成長

学びの活動は基礎から始め、子どもたちの成長段階に応じて難易度や課題の量をスパイラルに積み上げていきます。アカデミックなスキルや表現力への自信も育まれます。

## ■ STEAM Project

インターナショナルクラスではSTEAMを重視し、工作や実験、観察などのプロジェクトに1年生から取り組みます。創造的な体験を通して、手を動かしながら思考を深め、数理的な見方や科学的思考法をだんだんと学んでいきます。

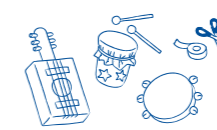
1年生 / 6月



### Rainy Season Explorer

どうして雨が降るのか、地面に染み込んだ雨はどこへいくのか。梅雨の時期には雨の観察を通じて水循環を学びます。また、降水量の測定や蒸発実験にも取り組み、正確な化学的測定の方法論にも触れます。

1年生 / 11月



### Our Sounds

身の周りにあるものを材料に楽器をつくり、音程や音量が変わる仕組みを探究します。さまざまな文化の楽器や歌を聴き、その起源や特徴について話し合って学びます。授業の終わりにはグループで歌を作曲し、発表します。

1年生 / 2月



### The Day & Night Skies

時計の読み方を学ぶ1年生の後半に、みんなで一日の空の変化を観察します。太陽や月、星などの天体を絵に描き、次の時間に天体がどのように動くかを予測。時間の学習を地球の自転と結びつけ、科学的な探究心と観察力を養います。

# Subject Learning

考える力を育む毎日の授業



## 教科の学び

小学校での教科の学びは、これからの人生の礎です。新しいことを知る刺激、夢中になって考える楽しみ、自分ならではの関心が芽生える瞬間、興味を深めるワクワク感、友達と意見を交わして生まれる思考の広がり——毎日の授業には、人生を豊かにする「学びの楽しみ」が詰まっています。将来の高度な学びや研究につながる確固とした教科基礎力を身につけるのはもちろん、自分なりの解を求める思考の喜びも味わってほしいと思っています。サレジアン国際学園が大事にしている「考え続ける力」を伸ばすのが、この毎日の教科の学びです。

## Japanese (Kokugo) 国語

低学年では唯一、日本の教科書を用い、日本語で行う授業です。他教科では英語学習も並行して進めますが、国語では日本語による「深く考える力」を育てていきます。授業のなかで文学や美しい言葉遣いに親しみ、正しい文法と豊かな語彙で自らの意見を表現する練習を重ねることで、日本語での思考力を養い、将来世界へ発信する力の基盤を築きます。

## Social Studies 社会

資料から事実を読み解き、現代の課題を自分事として捉える刺激を楽しみます。異なる立場や価値観を持つ友達と意見を交わし、多角的な視点で思考を深化。確かな基礎力を武器に、より良い社会のあり方を考え続ける力を養います。

## Life Skills 生活

身近な自然や社会への「なぜ？」という驚きを大切に、自ら動いて観察し考えるワクワク感を養います。発見を友達と共有し、試行錯誤するなかで思考が深化。理数探究や社会科の礎となる、「主体的に自分なりの解を求める姿勢」を育みます。

## Art 図画工作

正解のないキャンパスに自分ならではの関心を投影し、表現する喜びを大切にします。素材と対話しながら試行錯誤する時間は、創造的思考の源。友達の作品から刺激を受け、多様な価値観を認め合うなかで思考の幅を広げます。

## Music 音楽

音の響きに心を動かし、表現する喜びを味わいます。多様な文化に触れる刺激が感性を揺さぶり、仲間と音を合わせるなかで生まれる一体感が思考を豊かに。言葉を越えた対話を通じて、人生を彩る感性と創造的な探究心を育みます。

## Home Economics 家庭科

日々の暮らしを科学し、工夫して実践する喜びを味わいます。食や住まいへの関心を深め、より良い生活のために何ができるかを考え続ける力。確かな実践力を身につけ、家族や地域を想う心とともに人生を豊かに彩る知恵を育みます。

## PE 体育

体を動かす爽快感とともに、目標に挑む楽しさを学びます。仲間と協力し、作戦を練って課題を解決する過程で「考え抜く力」が育ちます。心身の健康を礎に、互いを認め合い、困難にも前向きに立ち向かう強さと共感力を養います。

## Religion 宗教

聖書のメッセージをもとに、多様な人々との出会いや異なる宗教・文化に触れ、互いを理解し共に生きる力を育みます。「対話」と「関わり」を通して、神さまからの恵みに気づき、それらを活かしてより良い社会を築ける世界市民を育成します。



## Curriculum

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
英語	5	5	5	5	5	5
国語	8	9	7	7	5	5
算数	4	5	5	5	5	5
理科			3	3	3	3
社会			2	3	3	3
教科横断型授業	生活	3	3			
	iTime	1	4	5	4	4
	図工	2	2	1	1	1
音楽	2	2	2	2	2	2
家庭科					2	2
体育	3	3	3	3	3	3
宗教	2	2	2	2	2	2
学活	1	1	1	1	1	1
	31	36	36	36	36	36

※毎日の授業前・後に行われるCircle Timeを学活の時間としています

## 学びの質を支えるしくみと環境

- 原則として土曜日は休日とする週5日制
- 1コマ40分、1年生から6時間授業で安定した学習時間を確保
- 2コマ連続のブロック型授業を取り入れ、思考の流れを止めずに深い学びを実現
- 英語や探究に偏らず、基礎学力・知識も着実に定着させるカリキュラム
- 世界中で採用されている英語での学力テスト「MAPテスト」を年に4回実施
- 教科横断型の学びにより、週あたりの授業時数を厚く設計

## さらに! 世界から選び抜いた最適な教材

一つの国や教育手法に偏ることなく、世界各国から各教科に適した教材を厳選しました。教科ごとの特性や学びの目的に応じて最適な教材を活用することで、理解の深まりと学びの質の向上を実現します。



# One Day

**1** 7:30-8:00  
Arrival  
登校



Period 1-2  
1・2時間目

Recess  
15分休み



Period 3-4  
3・4時間目

**2** 11:25-12:45  
Lunch & Cleaning  
給食・掃除



Lunch Break  
昼休み

Period 5-7  
5~7時間目



**3** 15:40  
Dismissal  
下校



1年生は  
14:40下校の  
場合もあります

After School Program

1日の学びを支える、選べる昼食

## School Lunch



毎日4種類の  
メニューから  
給食を選べます



©Lucadeli

ミシュラン星付き店出身のイタリア人シェフが手がける、安心・安全な給食。化学調味料を使用せず、徹底した品質管理のもとで丁寧に調理しています。世界の食文化にふれる国際色豊かなメニューを取り入れながら、栄養バランスや食べやすさにも配慮。食育と安全を両立し、子どもたちの健やかな毎日の成長を力強く支えます。

個性と強みを伸ばす放課後時間

## SALESIAN After School

- 希望者全員が利用可能
- 毎週月～金曜日、長期休暇中も実施  
※祝日、お盆、年末年始を除く
- ご希望に合わせて、利用方法を選択できます  
※利用頻度により費用が異なります

### 3つの特徴

- 安心安全で充実した学園施設内での預かり
- いいところを見つける・好きを伸ばす多彩なプログラム
- ご希望の方には多様な習い事オプションも

※アフタースクールとは別に、帰国子女アカデミーの英語レッスンも放課後の校内プログラムとして開講しています

放課後は個性を伸ばす大切な時間。NPO法人アフタースクールの運営する校内預かりでは、最大18:30まで校内で思い思いに過ごすことができます。おやつや宿題、習い事など、すべて学校内で完結するため、保護者の帰宅が遅いご家庭でも安心です。

# Events

毎月の誕生日会をはじめ、インターナショナルクラスならではの行事を実施しています。日々の学びと連動した体験の機会を大切に、日常のなかでの交流も育んでいます。

## Spring

- イースター集会
- 聖母祭
- スポーツデー

## Summer

- 親子パーティー



■ 学年の進行に応じて、宿泊研修・海外研修などの行事も順次予定しています。今後の広がりにもぜひご期待ください。



## Autumn

- ドン・ボスコ・ファミリーデー
- ハロウィーンイベント
- レクイエムミサ

## Winter

- クリスマスコンサート
- 聖ヨハネ・ボスコミサ
- 遠足
- サレジオオンステージ

## All Year

- 誕生日会(毎月)
- 徳の花(5・11・12・1月)

# FAQ

**Q** 日本の教科書を使っていなくても一条校なのですか？

**A** はい。本校は教育課程特例校として認可された一条校であり、日本の小学校卒業資格を取得できます。学習指導要領の内容を踏まえた上で、独自の教育課程を編成しています。

**Q** 日本人としての常識や文化は学べますか？

**A** 国語の授業を中心に、日本人として必要な規律や文化についても学びます。一方で、日本語や日本の習慣に触れる時間は相対的に少なくなるため、ご家庭でのフォローもお願いしています。

**Q** 保護者も英語力は必要ですか？

**A** 保護者の英語力は問いません。入試の親子面接も日本語・英語のいずれかを選択できます。入学後の教員とのコミュニケーションは基本的に英語ですが、翻訳ツールの使用も可能です。また、教員とそれぞれの母国語でやり取りできるコミュニケーションツールも導入しています。

**Q** 共働きでも大丈夫ですか？

**A** 共働きのご家庭のお子さまも多く在籍されていますので、ご安心ください。給食制のため、通常時はお弁当の準備は不要です。アフタースクールも利用できます。父母の会には全員ご入会いただけますが、活動への参加は任意です。

**Q** バイリンガル教育では思考力が育たないのではないかと心配です。

**A** 本クラスでは「なぜそう考えるのか」と問い続ける授業を行います。思考言語は児童によって異なりますが、思考力そのものと、両言語で表現する力はともに育つと考えています。

**Q** AG受験時に求められる英語力を教えてください。

**A** 英語でのやり取りを理解できること、5~6歳児程度の語彙で、単語ではなくセンテンスで話せることが目安です。さらに、自分の考えや理由を英語で伝えられるとより望ましいです。入試は英語力のみではなく、総合的に判断します。

Classroom

# Collaborative Workspace

## 「共に学ぶ」インターナショナルクラスの教室

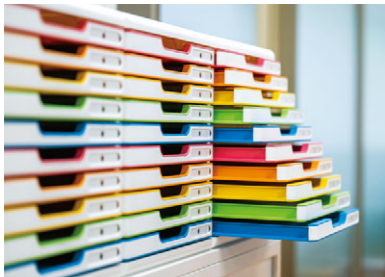


グループで意見を交わし、友だちと協力して取り組み、時には一人でじっくり考える——。インターナショナルクラスの学び方に合わせた特別な教室が完成しました。創造力を引き出すデザインや、自然と会話が生まれる机の配置が、子どもたちの発想や思考をのびやかに育てます。



Point

教室のあらゆる場所が、学び合いのフィールドに。「知りたい」が広がり、探究心へとつながります。

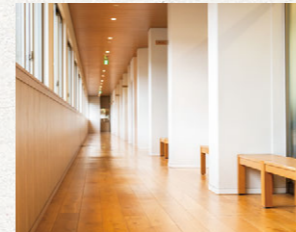


教室には400~500冊の英語の本がそろい、Book Treeのベンチやカラフルなラグの上で、子どもたちは思い思いの時間を過ごせます。まるで海外の小学校のようなこの空間で、友だちと対話を重ねながら自分の考えを育み、学びを深め、将来世界へ羽ばたくための準備をしています。



# Facilities

## 学年を越えて広がる充実の学びの環境



廊下



宗教室



チャペル



聖堂



プレイゾーン



図書室



体育館



多目的ホール



グラウンド



プール



中庭スペース



中高バイオロジーラボ

## お子さまの安心と安全のために



帰宅困難時の対応

電話またはメール、ホームページで保護者へ連絡し、学校まで迎えに来ていただきます。保護者が迎えに来られるまでは、学校で責任をもって保護します。



防災倉庫・防災用備品

全児童等および全職員の3日分の食糧等を備蓄し、有事に備えています。防災倉庫のほかにも、飲料水・非常食等の備蓄を行っております。



登下校ミマモルメ<sup>®</sup>と保護者一斉メール

登下校時の見守りに加え、学級閉鎖や天候不良などによる登下校時刻の変更、緊急時の連絡事項を保護者へ迅速に配信できる体制を整えています。

※登下校ミマモルメ：ICタグにより、児童の登下校時の通過情報を保護者へ通知する見守りサービス

# Uniform

世界で活躍する子どもたちのための制服

やわらかな印象のブラウンを基調とした、インターナショナルクラスの制服。好みやその日の気分に合わせて選べるオプションアイテムも。ボトムスは男女問わず自由に選べ、一人ひとりの個性や過ごしやすさに寄り添います。成長の早い時期に配慮し、ウエストや袖口は調整可能な仕様に。機能性と美しさを兼ね備えた制服です。

Produced by



Winter Formal Style



Summer Formal Style



Cardigan (Brown, Green)



Polo Shirt (White, Navy)

Casual Style



ギャザーやスリットを施した袖口  
成長に合わせて調整できます



通学カバンは自由に選べ、  
校章入りカバンも任意で購入できます

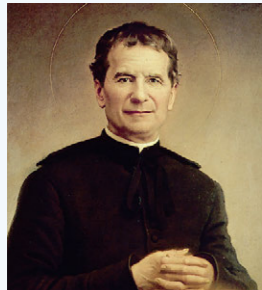


ボタンと胸元にはエンブレム  
この制服で誇らしく学びましょう



### ■ 建学の精神

学校法人星美学園は、キリスト教的な人間観・世界観により、創立者聖ヨハネ・ボスコと聖マリア・マザレロが実践した理性・宗教・慈愛に基づく「予防教育法による全人間教育」を行うために創設されたカトリック・ミッション・スクールです。



創立者：  
聖ヨハネ・ボスコ



共創立者：  
聖マリア・ドメニカ・マザレロ

### ■ 沿革

本校は、カトリック女子修道会「サレジアン・シスターズ」が創立母体です。サレジアン・シスターズは、1872年に聖ヨハネ・ボスコ、聖マリア・ドメニカ・マザレロによって創立され、イタリアのローマ市に本部を置いています。現在、世界98か国で教育活動を展開しています。

- 1947年 私立星美学園小学校、星美学園中学校 創立
- 1951年 学校法人星美学園 創立
- 1953年 星美学園幼稚園 創立
- 1958年 学園大聖堂建立献堂式 挙行
- 1968年 星美学園小学校校舎 落成
- 1974年 中学・高校普通教室棟 落成
- 1984年 小学校新校舎 落成
- 2015年 ドン・ボスコ生誕200周年
- 2021年 中学・高校普通教室棟全面リニューアル工事 完成
- 2022年 サレジアン・シスターズ創立150周年記念
- 2026年 サレジアン国際学園小学校に改称し、「インターナショナルクラス」スタート
- 2027年 中学・高校普通教室棟を小学校インターナショナルクラス棟に改修、北グラウンド新設

### ■ 進学・進路指導について

インターナショナルクラス卒業後は、所定の進学条件を満たせば、内部進学制度を利用して、サレジアン国際学園中学校インターナショナルクラスAdvanced Groupへの進学が可能です。



## Message



### 進化の早い時代だからこそ、 十数年後の社会を見据えた学びを

学園長 **大橋 清貫**

**Kiyomichi Ohashi**

時代が大きく動くなかでAIテクノロジーの進化もかつてないほどのスピードを感じます。その勢いはいっそう増していくことでしょう。そのなかで小学生は、十数年後社会で活躍すべく巣立っていきます。そこで活躍できる能力の基礎を初等教育の段階から学ぶことが大切であると考えています。もちろん小学校時代に必要な知識や生活は従来通り学びます。学んだことができることは重要ですが、本校ではそれらに加えて「自ら考えて判断できる。意見を持てる。行動できる。」ことを大事な教育の柱としています。サレジアン国際学園で21世紀に活躍できる世界市民力を、ぜひ獲得してください。